

幼児の遊戯といふものにつて考へるに、（一）昔の人の知力は今の幼児ほどのものであつた處から、昔の大人の遊戯は今の幼児の遊戯位のものであつた。我國で昔は大人が竹馬に乗つたりカケッコをして遊んだ、英國でも今の幼児のなす或る遊戯は「エリサベス」時代の舞踏であつたといふことである。それから今の人は遊戯を教育的に利用しようとするが此考は昔からある。貝原益軒先生は遊嬉をうまく利用するといふ考は持て居られなかつたけれども、体育の爲に幼児にやらせるはよしと考へて居られた。即ち日本でも教育的の思想を遊戯の方に入れて考へて居つたことは、たとへば足利時代の玩具「ブリ〜」は農具を模したもので實社會に用ふる準備として農を重ずるといふ考を入れるといふ點から用ひさせましたのである。徳川

時代には之を儀式に用ひ實際の玩具として用ふる事はやみましたが初めの考はこうであつたのです。又太平の世には戦争がありませんから、此考を入れる爲に五月人形などいふものもはじまつたでありません。又戦争のまねをして川をへだて、戦つて見るといふ遊びなどもありましたが、いづれも皆太平時に戦時の知識を與ふるもので後に大に儀式的には傾きました。昔は實地演習の爲に教育的精神を以て行つたのでありません。其他今日にも傳はつて居る遊戯に付て考へるに、たとへば「ニラミッコ」は敵をならみ威を示す必要のある亂世に起つたのでありません。又腕たし、脛たしすわりすまうなども戰場組打の練習でありませう。こういう風に或時代に起つた遊戯を考へると必ず其時代になつた教育的精神を有て居るものであ

る。

吾國の遊戲に付て考へるに徳川時代には理科的知識が表面は壓制されて十分發達しなかつたにも拘らず、幼兒の玩具に於て其理科的知識の殘て居る事を認めます。けれども維新の際諸物破壊の時代に徳川時代の此類の玩具で失はれたものが多い。故に日本の玩具遊戲に付て考へても研究の材料はあるのである。但し日本の昔時は之等に付てまとめて組織する研究するといふ事はなく又幼稚園のやうなものははじめるといふ事もなかつた。幼稚園といふものを創めたのはフレイベル氏であるが一体獨乙人は何をするにも宗教をはなれぬので、從てフレイベル氏の作業恩物皆神といふ事をはなれぬ。もし英國にフレイベル氏が出たならば社會の實利實益を中心として組織したのであるかと考へ

る。處がフレイベル氏は獨乙に出たものだから宗教の中心をとつた。日本では此宗教中心を改良して社會の實際を中心とするやうにしたいものである。

今日の教育は實地の經驗實驗に基くべしといふことになり、精神教育と躰育とは離るべからざる關係をもつて居ることが認められました。そして教育の可能性の足らぬものは身体に足らぬ處あるに よるといふことになつて居る。そこで遊戲に於ては幼兒の身体及精神上の特質を見る事ができる。かくして從て保姆教師は之に由て様々の事を發見する事ができる。たとへば活潑な子は遊戲に於ても活潑に、又のろい子は遊戲の時ものろく、其他 身体の欠點をもわらはしめます。故に教師が一人一人に質問し又は檢査をするよりは却つて幼兒相

互に遊戯して居るのを觀察する事に由て多くを知
 る場合が多い。現今教育的病理學に於ける材料應
 用にはぜひとも遊戯の觀察をしなければならぬ。
 これに由て可能性の如何を知り、何よりも先づ可
 性を養ふべき事をさとするやうになつて來た。殊に
 日本の今日のやうに特別な兒を扱ふ設備のない處
 では特に個人に付てよく觀察して訓練の材料、家
 庭への注意の材料を得なければならぬ。他の場合
 には幼兒は慎むから本性を見る事ができぬ。遊戯
 の時の天真爛漫な有様を見てよく考へるがよろし
 い。

教育の源は可能性を養ふにある。よく觀察注意し
 て身心の欠點を補ひ可能性をよくしなければなら
 ぬ。之は教育的病理學の應用である。

次に遊戯の教育的價值に付て述べん。

- (1) 感覺的機關の作用發達を完全敏捷ならしむる事
 實物教授をするにしても各兒の感覺機關をよくし
 て即ち其可能性をよくして置いて然る後に實物を
 見せるべきで殊に今日のやうに多くの兒を一しよ
 に取扱ふ時にはまづ一しよにしてよいだけに可能
 性を養ふ事が甚だ必要である。しかし遊戯は此
 感覺教育に付てたしかに必要な事である。
- (2) 注意力を養成する、即ち鋭敏ならしめる。
- (3) 摸倣の作用を強くするのも遊戯に於てすべき一
 の仕事である。教育に關する作用の中摸倣は一
 の必要なる作用である。摸倣の不確なのはよく遊戯
 の際にたしかにしてやるべきである。
- (4) 幼兒の觀念界を擴むる事必要である。なるべく
 いろ／＼の事物を経験させるがよろしい。
- (5) 想像力を養ふ。

(6) 判斷力を増すやうにすべきである。即ち同物を集むるとか、異なる物を區別するとか。簡短な事に由て類似差別の分類をさせるなどは判斷力養成によい事である。

(7) 感情及意志を養成する。たとへば自分といふ考の弱きものはよくなほしてやらねばならぬ。自分はダメと思はせぬやうに働きて結果のあらはるゝやうな事をさせて事物の成效の愉快を知らせると段々に進む。即ち自分の力を認めさせるのである。

(8) 我儘な兒を遊戯に於てなほすがよろしい。一体我儘といふは我意を通させすぎたもので四才位には天然に我意を通さんとする傾があるもので之を正すには同等の權利を有つ者の制裁といふ事甚だ有力である。ある兒の勝手を他兒が通させぬといふ事に由て我儘はよほどなほるのでかような兒に

は協同遊戯を課するがよろしい。

(9) 他人を助ける精神を養ふ事。之は協同遊戯の際には自然に他を助ける場合が多い。

(10) 判斷力を養成する。判斷力の足らぬ兒には決斷の必要なる遊戯を課するとよろしい。

(11) 一方の兒の性があらかし時には割合に温順な兒を傍に置くと感化をうける。良き方を多くつけるはど効果は早し。

(12) 模範となるべき行爲をなした時には直接に其處でそれを指示してやるがよろしい。實例を歴史の上上に求めず之を遊戯の場合に求めることが出来る。之は最も分り易くて効が多い。

(13) 各自に對して従順なる服従を要求すべし。外國では神の命に服従する考があるが、日本には此事がない。そこで宗教上に由りて服従といふ事がま

づないとすれば教育上せひ之をつとめなければならぬ。遊戯の時には教師の示せる所に従ふか従はぬかよく分る故に、よく此服従といふ點に注意しなければならぬ。

遊戯は大要以上のごとく可能性、想像、感情、意志に關係するので教育的價値は非常なものである。現今ある人は遊戯と体操とを接近せしめようとして居る。之は何國でも遊戯の教育的價値を認めはじめるときによくある事なので現に獨乙でも三十年前に此事があつた。そうして之は改良すべき事なので自由な遊戯即ちあまり束縛しない遊戯の内に眞の教育をして行くべきである。

奇妙なる動植物(ついで)

田寺寛二

(七) 世界第一の小さな鳥

蜂鳥といふ鳥は世界第一の小さな鳥でありましてその長さは僅かに一寸あまりしかないのがありま

す。第一圖は此蜂鳥の中の極普通なものを示したのです。凡べて此鳥の羽は皆美しい彩色をしてゐましてその嘴は身長に比しては實に長く殆んど身長はともあるものがあります皆管狀をしてゐましてランドラの様な筒狀をしてゐる長たらしい花の蜜などを吸ふには最もよく適してゐるです。

また飛翔力に至つて迅速でありまして燕なども感は一步を譲ることもあるそうです。種類はなかなか多くあります同じ種類の蜂鳥でも其羽色外形に